

# しおじり

平成20年4月15日

No. 164

3月定例会号

## 市議会だより

**わがまちの名産:「ワイン」** 市内9つのワイナリーと塩尻志学館高校で醸造されているワイン。  
伝統の品質は国内外で高い評価を受け、市内で行われるPRイベントは人気が高い。



発行 塩尻市議会

〒399-0786

長野県塩尻市大門七番町3番3号

電話 (0263) 52-0280 FAX (0263) 52-3969

URL <http://www.city.shiojiri.nagano.jp>

Eメール [gikai@po.city.shiojiri.nagano.jp](mailto:gikai@po.city.shiojiri.nagano.jp)

編集 塩尻市議会広報委員会

### もくじ

3月定例会トピックス	2P
委員会の焦点	3P
一般質問の要旨	4P~9P
平成20年度予算審査概要	10P
提出された議案及び議決結果	11P
市民の声・議会あれこれほか	12P



### 議会トピックス

▼平成20年度予算を審査 (詳細は10ページ)

▼有害図書類等の自動販売機等の規制に関する条例ほか

13件の条例議案を審査

▼道路特定財源の確保に関する意見書ほか2件の意見書を審査・可決し、国へ提出

# 3月定例会

2月27日

3月17日

## 3月定例会概要

3月定例会では市長から平成20年度予算を含む43件の議案が提出され慎重に審議し、また農業委員会委員の議会推薦や国会で議論されている道路特定財源に関する意見書等4件の議員提出議案についても審議しました。

### 集中議論

## 有害図書類等の自動販売機等の規制に関する条例の必要性

3月定例会で最も時間をかけて審議を行ったのは「塩尻市有害図書類等の自動販売機等の規制に関する条例」でした。

3月10日の福祉教育委員会と3月17日の議会最終日に審査が行われ、それぞれ賛成・反対の討論を行いました。採決の結果賛成多数で可決されましたが、審査の中で条例制定後について

・権限を持つことになった市長は条例の運用・規制判断を慎重に行うべきである。  
・今後もこれまでの地域の活動を継続し、子どもの健全な環境を守ることが大人の義務である。  
など多くの意見がありました。



一般質問は12人が行い、市長らに伺いました。

## 主な賛成意見

○地域では区長会や民生委員、子ども会育成会等の役員が見回りをしたり、回覧を回したりしているが、いずれも「お願い」であり何の権限もない。地域では限界があり、条例制定はやむを得ない。

○長年市民により撤去活動に取り組んだが、更に増えている現状から、条例化はやむを得ない。

○表現の自由は尊重されるべき権利ではあるが、市長はその判断に慎重を期し、条例で定めた審議会の意見を尊重すると明確に述べている。

## 主な反対意見

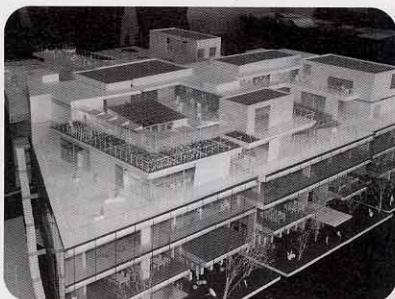
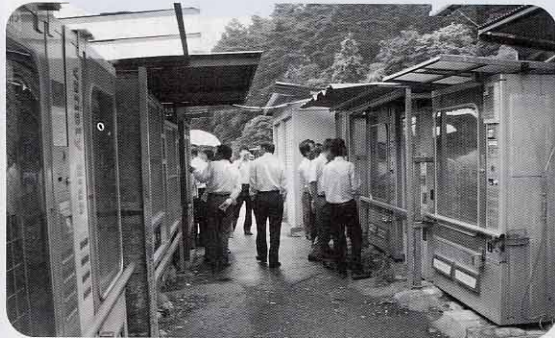
▼市は憲法の表現の自由に反しない根拠として岐阜県青少年保護育成条例の最高裁判例を挙げているが、「規制は憲法の保障する表現の自由に係るもので所論は検討に値する」と補足意見が最高裁判所裁判官によりつけられている。

▼市は、市民の強い要望により条例化を進めるとの説明はあっても、青少年が有害図書類等自販機から相当な影響を受けているという実態について説明がない。

## 市街地活性化 特別委員会の焦点

(仮称) 市民交流センター取得予算、全員一致で可決

平成20年度予算に再開発組合が建設する同レベルの図書館・子育て支援センター・交流広場などの公共施設部分を買収する予算が計上された。2年間で分割して買い取るようになるが、20年度には土地分全額、工事費・設計費の負担分及び進ちょく分として18億円となり、21年度は残りのほぼ同額が計上される予定。委員会としては、施設経営や周辺地域活性化のため、運営資金調達を自力で担える市民サポート組織の確立や、市からの技術支援も強く求め、予算を可決した。紆余曲折のあった事業がいよいよ本格化する。



いよいよ予算が可決され、建設が始まる (仮称) 市民交流センター



# 委員会の焦点

～委員会審査報告から～

## 一層の森林整備、 道路改修を 経済建設委員会

経済建設委員会は、12、13日の両日開き、平成20年度一般会計予算案など予算案件12件、中心市街地にぎわい広場廃止条例案など条例案件3件、市道路線の廃止及び認定など事件案件2件の計17議案を審議し、原案通り可決さ

れました。新年度一般会計予算案について、観光費のならい荘利用補助金は奈良井宿全体の観光振興を図るものであるとして、市側が奈良井宿活性化事業補助金として事業名を訂正。造林費の森林整備維持管理費や道路維持費の道路維持諸経費に關し、委員からの里山の育成や間伐の対策により一層の

森林整備が必要なことや、市道の管理、補修が不十分な点が指摘されました。これに対し、市側は森林整備について、独自に交付金加算があることや県森林税の導入により整備促進に繋がる状況を説明。道路維持については、減額ありきでなく選択と集中により効果的に改修に努めるとして理解を求めました。



塩尻市の45%を山林が占める。今後の森林整備促進に期待する。

## 有害図書類等の 自販機等規制条例審査 福祉教育委員会

当委員会に付託された案件は12件であり、予算案件では平成20年度予算の審査が主で、原案の通り可決されました。洗馬の新施設の稼働日について質問があり、洗馬児童館は入学式の4月4日から、ふれあいセンター洗馬



ふれあいセンター洗馬・洗馬児童館は4月にそれぞれ稼働する。

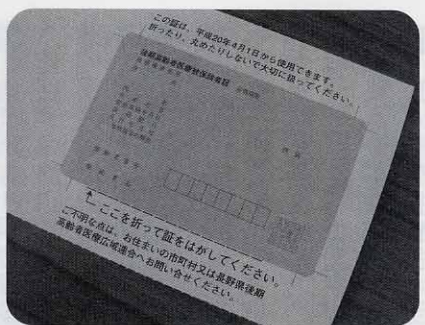
は16日を目標としているとの答弁がありました。また、保育園及び広丘小学校の耐震改修工事に対する質問があり、統合計画と合わせて実施していくが、広丘小学校については平成20年度は実施設計を、21年度には工事を実施するとの答弁がありました。条例案件では、「塩尻市有害図書類等の自動販売機等の

規制に関する条例」について、反対意見が出されたため採決となり4対3の賛成多数で可決すべきものとなりました。憲法にある表現の自由と抵触しないのか、市独自で制定する必要があるのであるが主な論点となり、2時間半に及ぶ慎重審査となりました。

## 後期高齢者医療制度 開始 総務環境委員会

3月議会は、来年度の予算審議をする重要な議会であり、予算に關係する条例の改正など、付託された議案は21件であり、慎重に審査され原案の通り可決されました。6年ぶりとなる前年対比減となる予算案であり、費

用対効果を考えながらの審査でした。国の予算や企業の景気状況などの要因により歳入が伸びない以上、歳出を抑えなければ予算が組めず、道路特定財源の行方によっては、市の予算や事業執行にも大きな影響が出る。最悪の場合は予算と事業計画の見直しを再検討する事態ともなりかねない。ま



後期高齢者医療制度が4月1日から開始された。

平成20年4月1日施行となる、後期高齢者医療事業に係わる案件も多く審査されました。国、県、市ども財政運営に頭を悩ましている。市民への負担は軽くしたいが、予算措置が出来ない。限られた予算を大切にすると共に、市民にも理解と協力を求めざるを得ない。厳しい予算議会でした。



# 市政を問う!!

質問者

- 永井 泰仁
- 五味 東條
- 金子 勝寿
- 山口 恵子
- 中村 努
- 太田 茂実
- 今井 英雄
- 小野 光明
- 柴田 博
- 鈴木 明子
- 古厩 圭吾
- 石井 新吾

※本文は質問者自身が書いています。

## 一般質問の要旨

### 田園都市としての農業政策

◆米政策の見直しについて

**問** 20年産生産調整面積拡大に伴う交付金は (永井)

**答** 5年間継続転作が条件、地域水田農業推進対策協議会と契約した農業者で、19年産調整実施者は10a当たり5万円、それ以外の者は10a当たり3万円が、作付け前の踏み切り料として交付され、バイオ米等も条件付きで、産地づくり交付金が交付される。

◆農地耕作資格面積緩和策

**問** 新規就農希望者へ面積要件の50aを緩和するか (太田)



田園都市としての農業政策の充実を



ブドウの雨除ハウスについて 事業費の1/3を補助

**答** 県から経営規模の見直しがあり、広丘地区40a、宗賀30a、榎川20aに緩和する。ただし利用権設定(借地)しての新規就農については、今後協議をしたい。

◆ブドウ晩腐病対策として

**問** ブドウの雨除ハウス助成の拡大は (太田)

**答** 本年度事業費1/3補助する。 ◆直売所の支援

**問** 直売所は小規模農家の収入確保や食料自給率の向上、地域振興等に寄与、野菜流通の大きな流れとなっているが市としての考えは (五味)

**答** 農協、直売所、関係産業などと一体となって振興策を積極的に研究していく。

◆森林税導入による里山整備

**問** 整備手法は (永井)

**答** 個人林を30ha余に団地化

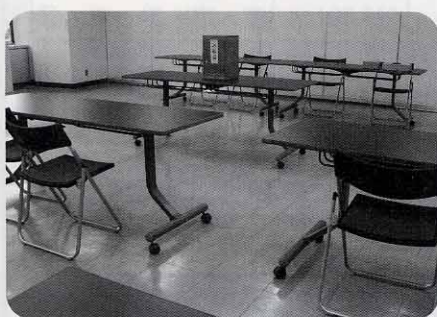
し、市との協定により20年間転用等の制限がされ、切捨て間伐、除伐は、1ha約19万円で9割補助があり、個人負担は、約2万円前後の見込み。

### 入札制度の見直しの考えは

◆入札制度の問題点は何か

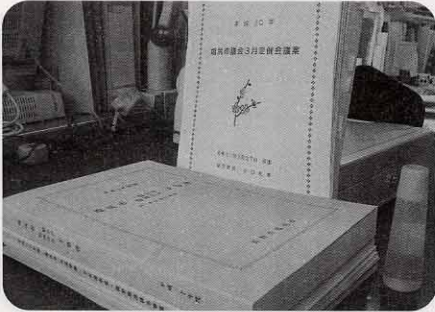
**問** 昨年7月から改善された「簡易型一般競争入札」方式の現状はどうか、また、問題点は何と考えるか (柴田)

**答** 7月以降の結果は、合計で平均落札率が85・65%で、導入前より8・66%低下している。入札参加業者が増え競争性が増したものと考える。現在、低入札価格値の引き上げを検討している。



今後もより適正な入札制度となるよう研究を





適正な財政計画の執行とともに  
新たな財源の研究を

◆公共工事入札制度について  
問 落札状況と低入札価格調査制度に基づく基準値65%の見直しを  
(永井)

答 2月21日現在、全体の落札件数は、320件、平均落札率は、89.32%となっている。最低制限価格を工事予定価格の75%とする方向で検討中である。

◆市民公募債のあり方

問 来年度発行予定の市民公募債の考え方は  
(金子)

答 市民交流センターや新体育館など発行目的を明確にする。また、金融商品として利息の代わりに特産のワインをオプションとするアイデアも含め公募債の姿を検討中。

◆職員の手当金の発行は  
問 退職者状況は  
(永井)

答 本年度の退職者は30人、

それ以降は、15人から20人の予定。退職金は、年3億円から5億円が必要。退職手当金は、有効財源の一つとして、前向きに検討する。



長い年月をかけて整備された市内の道路。  
半端な形で残さず整備の継続を

公平な  
税負担の  
あり方

◆道路特定財源について

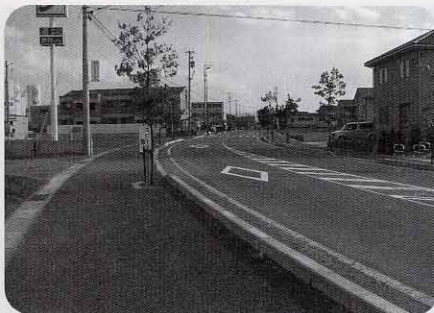
問 政府は、個々の道路計画も無く総額だけが決められている「道路中期計画」にそって、59兆円もの財源を10年間にわたって道路だけに使おうとしている。道路特定財源や暫定税率についての市長の考えはどうか  
(柴田)

答 まだまだ社会資本の整備には多くの予算が必要であり、

必要な道路を作るための合計が59兆円と理解する。

◆固定資産税などのあり方

問 区画整理地内の住宅地商業地の固定資産税の差  
(太田)



区画整理地内の税負担は明確か

答 税負担軽減の必要から、住宅地200㎡以下の住宅地の小規模住宅地は課税額1/6、200㎡を超える分1/3の額とする特例がある。店舗等収益物件は軽減措置はない。都市計画税についても住宅用地は同様特例である。都市施設の費用にあてる目的をもっている。

◆公用車の管理と防犯対策

問 駐車場の防犯対策に問題はないか。盗難等の事件はなかったか  
(石井)

答 平成18・19年にガソリン等の抜き取り事件等3件あった。被害額が少額だったので議事に報告しなかった。防犯

対策を見直す。

規制条例の  
運用は  
万全か

◆有害自販機規制条例の問題

問 青少年健全育成、環境浄化には異論はないが、因果関係が明確でない目的を謳い、独善や拡大解釈の恐れのある条例制定は如何か  
(古厩)

答 平成元年岐阜県での最高裁判例をベースに、有害判断は全国と同程度で心配ない。条例名称も、「有害自販機の規制」とし、第二条で拡張解釈を禁じた。



昨年千葉県警にて規制条例による有害図書類自販機ゼロ作戦について福祉教育委員会で視察をした





規制条例施行後も周辺市町村との連携を  
(市こども課・青少年補導センター)

**問** ワーストワンの返上だけでなく、実効を上げるには県はもとより、周辺市町村との連携が必要とされるが(古厩)

**答** 青少年補導センター等を通じ県に働きかけてきた。周辺住民に、台数を減らす為の意識が高い。青少年が健やかに育つ為の契機として、市民と行政の協働で充実させたい。

◆「表現の自由」との関係は

**問** 有害図書類等の自販機規制に関する条例案が、憲法二十一条の保障する表現の自由との関係で問題がないという根拠は何か (柴田)

**答** 条例案は、子ども達に触れさせたくない物を自由に買える環境を制約するもので表現の自由に抵触するとは考えない。また、第二条には拡張解釈してはならないというこ



給食食材の地元産使用をさらに望む

とも入っている。

**◆子どもに味覚教育を**

**問** 味覚の発達期にある子どもにこそ食育は重要だと思いがその対策は (五味)

**答** 味を感じる体験をしたり地元産の食材を調理することで食への興味をもつ事業を実施して味覚教育に取り組む。

◆地産地消の推進

**問** 学校教育における地元食材の使用割合は (五味)

**答** 主食の米については塩尻産を使用、麺については長野県産の小麦を使用、農産物については野菜は市内、県内産

**◆食育の推進**

**問** 児童生徒が栽培した野菜を給食に利用したら (石井)

**答** 総合的学習の時間が少なくなるが、食育教育として栽培から食までの一貫した取り組みを検討したい。

◆学校給食について

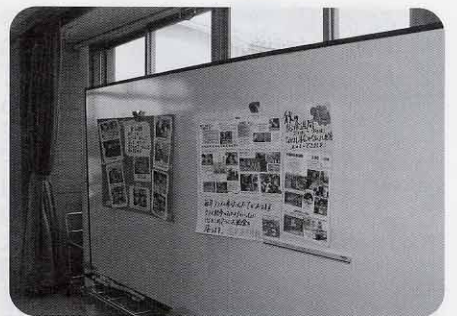
**問** 米消費拡大対策として完全米飯給食の実施を (石井)

**答** 地産地消を推進し、農家情報を得ながら実現に向け検討する。完全米飯給食は、施設設備等課題が多い。

◆学校給食について

**問** 冷凍・加工食品の使用状況はどうか (山口)

**答** 手作りを基本とし、ほぐかい期における野菜などは冷凍食品を使用、行事食のデザートなどは加工食品を使用す



自校給食を生かした食育の推進を

ることにもまれにある。国産材料を基本とした安心安全な給食作りをしていく。

**教育行政の方向性は**

◆教育における協働について

**問** 地域に開かれた学校づくりが叫ばれるが、教育面について協働とはどのように捉えたらいいのか (小野)

**答** 基本的には学校、家庭、地域が一体となって相互関係を深めること。地域による学校づくりとしてはコミュニティスクールの設置も考えられる。

◆両小野小中学校一貫構想

**問** 両小野小中学校の一貫化構想を検討中だが、この構想に対する所見は (小野)



地域と学校が一体となっ  
てより良い教育環境を考  
える





川上家文書など貴重な古文書を保管・研究する古文書室（市総合文化センター）

**問** 画期的な取り組みであり、非常に期待している。前向きな活動として見守りたい。

**答** スクールバスの運行改善を

**問** 東小のスクールバスについて本来、学校が終点、始発であるべき。乗降場所の見直し、みどり湖区へのルート見直しはできないか（鈴木）

**答** 昨年10月の路線バス廃止時に検討した結果、現行の運行となっている。改善できるか関係機関と検討する。地区関係者とも懇談の機会を持つようにする。

**◆古文書管理について**

**問** 市内の旧家などから寄贈された古文書の整理・保存がどのような状態でなされているのか。将来的な管理体制については（金子）

**答** 現在、古文書室には8千

### 保育行政と子育て支援



新たに建てられた高出保育園

点が所蔵され、指導員1名、臨時職員1名が管理にあっている。現在の古文書室の面積が41.6㎡と手狭なため、新たな古文書の受け入れができない状態にある。そこで、将来的には、現図書館施設の後利用を含め検討している。

**◆保育園の整備について**

**問** 出生率が上昇傾向にあるが、今後の保育園の整備はどう考えているか（金子）

**答** 定員調整の選考において、三歳未満児の入園希望が増加していることへの対応を考え、乳幼児室の確保などを含め必

要に応じて今後の計画の見直しを実施したい。

**◆おじいちゃん先生について**

**問** 保育補助員の全体研修は行わないのか（金子）

**答** いまのところ実施する考えはない。

**◆子育て支援について**

**問** 病児、病後児保育事業と子育て支援シヨートステイ事業の実施時期は（山口）

**答** 病児、病後児保育は、桔梗ヶ原病院の施設整備終了後、シヨートステイ事業は、4月から実施していく。



子どもの安全、親の安心を考えた子育て支援を

### 安心 安全な健康対策



検診受信者の55~75%の人ががん検診を受けている

**◆市民の健康対策は**

**問** 市民の命をがんから守るための本市のがん検診の受診状況は（山口）

**答** 申し込み者の55%~75%で横ばい状況。今後受診率の向上に努力していく。

**問** 本市の薬害C型肝炎対策は（山口）

**答** 血液検査を自己負担500円で実施する。ホームページで市民にわかりやすい相談窓口を設けていく。

**◆松本病院・中信病院について**

**問** 国立病院機構である両病院の赤字解消に向け検討委員会が設置された。本市にとって重要な高度医療を担う病院である。存続に向けた病院改革に積極的に関り、広域事務としての扱いや財政支援も対応が必要だがどうか（中村）





重要な高度医療を担っている松本病院

**問** 大変大きな課題で、即答できないが、国立病院機構とも場所の提供まで含めた支援のありかたを話し合う機会は持っている。7万人の市としての責任の範疇を考えながら私的には当然財政支援をしても継続させたい考えだ。

**答** 制度内容の説明が必要では

**問** 後期高齢者医療制度開始に向け、市が行っている説明会の内容は不十分。制度で、75歳以上の医療が切り捨てられることについても説明すべきではないか (鈴木)

**答** 情報が来ていない。高齢者特有の慢性疾患についての包括診療、在宅医療の充実や終末期医療での家庭での看取りなどが盛り込まれているとの報道がある。今後情報提供できるように保険者である広域

連合と相談していく。

**問** 国保の繰越金が3億円ほどあるが、引き下げができるのではないか (鈴木)

**答** 平成20年度は後期高齢者医療制度との関係で、ある一定の予備費が必要。21年度に向けて国保の見直し検討を行っていく。その中で、税額、繰入金のある方等も含め検討していく。

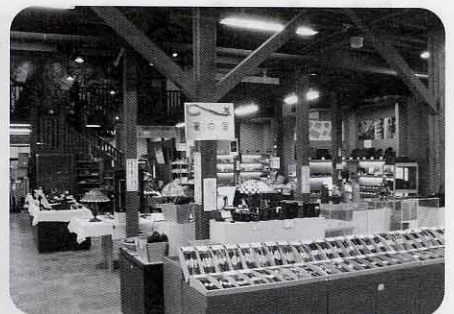
## 地域ブランド構築の考え方

◆(財)塩尻・木曾地域地場産振興センターについて

**問** 借金返済は可能か (中村)

**答** 19年度末で70万円の赤字を見込んで。行政からの補助金も半減となり事業収益の急増は期待できないため、返済は先延ばしするしかない。

**問** 漆器産業の衰退に歯止めがかかっておらず、街の仕事や人の流れが減っており、施設の有効性が認められない。返済計画の見直し、収益事業の公益法人改革を行い、本来の目的に合った計画を作成すべ



経営状況から見て緊急な改革が求められる塩尻・木曾地域地場センター

きだがどうか (中村)

**問** 指摘の通りである。返済計画見直しはもちろん、漆器販売に頼らない地場産センターの収益事業の改革プランを5年以内に作るよう指導する。

◆分水嶺について

**問** 全国でも有数な分水嶺を有する地域なので、地域ブランド化の考えは (五味)

**答** 地域ブランドとなり得るよう行政として支援していく

◆塩尻ワインについて

**問** 首都圏における塩尻ワインブランドの知名度アップを今後も継続していくか (五味)

**答** 首都圏への「攻めのイベント」と位置づけ、継続的に開催していく。

## 公共建築物のあり方は

◆交流センター駐車場見直し

**問** 60台の平面駐車場確保で、小学校の体育館に匹敵する費用の必要な立体通路計画は、見直すべきではないか (古厩)

**答** 年間40万人利用を見込んでいる。子育て支援施設でもあり、横断の安全のため必要。費用対効果から見ても、市の実質負担はその1/3〜1/4である。

◆体育館は今年度中に目処

**問** 体育館の要件、場所選定に何時頃方向出すか (古厩)

**答** 全世代が運動に親しむ健康づくりの施設とし、近年は防災拠点としての位置づけも重要。20年度中に方向出す。

◆開発誘導エリアの現状は

**問** 平成19年度から、利用計画整備計画に関する調査を実施したが現状は (古井)

**答** 今後の計画的な開発を調整・誘導するための都市計画に関する基礎調査を実施したものです。





◆住民自治のあり方と展望

問 住民自治基本条例は今後のような方針で制定を目指すのか。また、地域自治を高めるため、地区に一定の予算と権限を与える分権型を導入する考えはないか (小野)

答 条例は実効性のある仕組みづくりを目指すためにも、学識経験者を交えた検討委員会を設置して幅広い視点で研究したい。分権型は実質的な活動段階がなく、まずは受け皿となる組織の機能強化を考えたい。



市は現在、市営大門駐車場と市民交流センター3階と上空通路で結ぶよう計画

◆区公民館の耐震対策

問 区公民館の耐震診断とその対策はどんな状況か (小野)

答 診断は一力所のみ。対策は補助金申請により他に優先して進めたい。

◆広告ビジネスで財源確保を

問 広報誌やホームページ、窓口封筒へ有料広告の掲載は産業や商業の応援もでき、市の財源になるかどうか (山口)

答 現在検討中。窓口封筒については20年度より実施予定。

◆県下消防広域化再編に本市内の消防機能充実は

問 県下広域消防2ブロックの推進計画があるがその前に市内の署、機器体制は

答 南部(横川)地区の消防体制は検討要ありと位置付けられており続けて働きかける。ハシゴ車等は隣接署から30分以上所要となることから3台配備を4台として設置に向け働きかけてゆく。



県で広域消防の再編が計画される中 市内の消防体制の充実を

◆消防団員について

問 現況と定数見直しの考え方は

答 団員確保が厳しく、46名の欠員がある。地域の実情と、常備消防を勘案して、消防団等と定数を協議していく。

◆気象観測機器増強へ

問 近年、異常気象が発生し災害が多発しているが観測体制の整備状況は

答 局地的な雨量を観測し災害発生に備えるため、市内7カ所に観測機器を設置し、記録を市のホームページ(HPP)で公開し、災害発生時に市民に対し情報発信する。

◆環境意識向上への対策は

問 「環境と共生するまちづくり」を謳って、環境に関する諸施策に取り組んでいるが、状況、対策はどの様なものがあるか

答 「環境をまもる心をはぐくむ」と位置づけ、地球温暖化対策等への意識向上に向け生涯学習や学校教育などの場で、より環境教育が推進されるよう支援事業を進める、又事業者を対象に「塩尻環境スタンダード認証登録制度」を構築し、取り組みを通じ環境改善等の推進を図っていく。

◆市民環境大学の設置を提案

問 環境意識の向上対策として、設置の考えは

◆今後研究していきたい

◆ゴミの堆肥化と分別

問 生ゴミの堆肥化の実施時期はいつ頃か。また、広域での分別の統一は

答 給食残渣の堆肥化を検証しながら検討中。広域での分別の統一を研究したい。



生ゴミ堆肥化の推進を

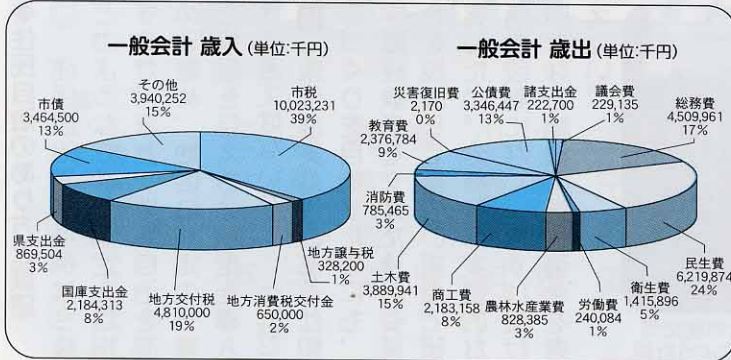




# 平成20年度予算審査

- 一般会計予算262.7億円 前年から5.6億円の減（6年ぶりに前年度を下回る）
- 平成18年7月豪雨災害時の支出や市職員の大量退職等の影響により厳しい財政状況
- 国の道路特定財源の及ぼす影響や、平成20年度から始まる後期高齢者医療制度に関する案件を審査

平成20年度一般会計 262,700,000千円



平成20年度会計別一覧

(単位 千円、%)

会計名	平成20年度 A	平成19年度 B	増減 (A-B)	伸率 A/B
<b>一般会計</b>	26,270,000	26,830,000	△560,000	△2.1
<b>特別会計</b>				
国民健康保険事業	6,187,800	5,850,700	337,100	5.8
住宅新築資金等貸付事業	1,613	1,927	△314	△16.3
老人保健事業	551,100	5,487,900	△4,936,800	△90.0
用地先行取得事業	2,547	56,060	△53,513	△95.5
奨学資金貸与事業	15,750	25,137	△9,387	△37.3
介護保険事業	4,189,340	3,984,540	204,800	5.1
簡易水道事業	410,550	352,600	57,950	16.4
国保榑川診療所事業	101,580	101,600	△20	△0.0
後期高齢者医療事業	551,500	-	皆増	皆増
特別会計小計	12,011,780	15,860,464	△3,848,684	△24.3
<b>公営企業会計</b>				
水道事業	2,253,722	2,507,576	△253,854	△10.1
駐車場事業	106,242	111,608	△5,366	△4.8
下水道事業	5,729,107	4,979,400	749,707	15.1
農業集落排水事業	563,481	591,515	△28,034	△4.7
公営企業会計小計	8,652,552	8,190,099	462,453	5.6
<b>合計</b>	46,934,332	50,880,563	△3,946,231	△7.8
<b>(全会計純計)</b>	44,669,295	48,069,317	△3,370,022	△7.0

\* (全会計純計) は、会計間で相互にやりとりする繰出し・繰入れ等の重複部分を除いた統計を示す。

## 予算審議の焦点

### ○維持補修費の削減

平成19年度1.5億円

▶ 平成20年度1.3億円 (前年比10.1%)

### 【意見】

「安全・安心のまちづくりの中で、必要な道路補修、道路維持、カーブミラーなどの交通安全施設は不可欠である。そのための十分な維持補修費は確保すべきである。」  
(経済建設委員会にて)



老朽化したカーブミラー

破損した幹線道路

### ○普通建設費の削減

((仮称) 市民交流センター取得費を除く)

平成19年度45.1億円

▶ 平成20年度34.0億円 (前年比24.7%)

### 【質疑】

問：平成20年度に広丘小学校耐震改修工事の設計委託料があるが今後の予定は？

答：20年度に設計を行い21年度に工事を行いたい。

問：現在の教室や体育館は耐震補強を行うのか。

答：体育館は新設を考えている。

(福祉教育委員会にて)

### ○財源の確保

### 【意見】

国の道路特定財源の暫定税率による、市の財政に与える影響等について、事業計画や予算の検討をしなければならないと考える。  
(総務環境委員会にて)



# 3月定例会に提出された議案及び議決結果

## 市長提出議案（47件）

番号	件名	採決結果		議決結果
		賛成	反対	
議案1号	塩尻市手数料徴収条例の一部を改正する条例	21	2	原案可決
2号	塩尻市国民健康保険条例の一部を改正する条例	21	2	原案可決
3号	塩尻市消防委員会条例の一部を改正する条例	23	0	原案可決
4号	塩尻市組織条例の一部を改正する条例	23	0	原案可決
5号	塩尻市国民健康保険榑川診療所の一部を改正する条例	23	0	原案可決
6号	塩尻市後期高齢者医療に関する条例	21	2	原案可決
7号	塩尻市公民館条例の一部を改正する条例	23	0	原案可決
8号	塩尻市立保育所条例の一部を改正する条例	23	0	原案可決
9号	塩尻市福祉医療費給付金の一部を改正する条例	21	2	原案可決
10号	塩尻市介護保険条例の一部を改正する条例	23	0	原案可決
11号	塩尻市有害図書類等の自動販売機等の規制に関する条例	19	4	原案可決
12号	塩尻市中心市街地にぎわい広場条例を廃止する条例	23	0	原案可決
13号	塩尻市榑川地区定住促進住宅条例の一部を改正する条例	23	0	原案可決
14号	塩尻市特別用途地区内における建築物の制限に関する条例	23	0	原案可決
15号	長野県後期高齢者医療広域連合規約の変更について	23	0	原案可決
16号	財産の無償貸付けの変更について	23	0	原案可決
17号	財産の取得について	23	0	原案可決
18号	篠ノ井線広丘駅東西自由通路新設工事委託に関する施行協定の変更について	23	0	原案可決
19号	市道路線の廃止及び認定について	23	0	原案可決
20号	平成20年度塩尻市一般会計予算	23	0	原案可決
21号	平成20年度塩尻市国民健康保険事業特別会計予算	23	0	原案可決
22号	平成20年度塩尻市住宅新築資金等貸付事業特別会計予算	23	0	原案可決
23号	平成20年度塩尻市老人保険事業特別会計予算	23	0	原案可決
24号	平成20年度塩尻市用地先行取得事業特別会計予算	23	0	原案可決

## 議員提出議案（4件）

番号	件名	採決結果		議決結果
		賛成	反対	
議会1号	道路特定財源の確保に関する意見書	21	2	原案可決
2号	農業委員会委員の推薦について	23	0	原案可決
3号	公共事業における建設労働者の適正な労働条件の確保に関する意見書	23	0	原案可決
4号	森林・林業・木材関連産業政策の充実を求める意見書	23	0	原案可決

## 請願処理状況（4件）

番号	件名	採決結果		議決結果
		賛成	反対	
請願12月1号	米価の安定対策を求める請願	0	23	不採択
3月1号	「公共工事における賃金等確保法」（仮称）の制定など公共工事における建設労働者の適正な労働条件の確保に関する意見書提出を求める請願	23	0	採択
3月2号	森林・林業・木材関連産業政策の充実を求める意見書の送付に関する請願	23	0	採択
3月3号	高齢者に負担増と差別医療を強いる後期高齢者医療制度の中止・撤回を求める請願	2	21	不採択

番号	件名	採決結果		議決結果
		賛成	反対	
議案25号	平成20年度塩尻市奨学資金貸与事業特別会計予算	23	0	原案可決
26号	平成20年度塩尻市介護保険事業特別会計予算	23	0	原案可決
27号	平成20年度塩尻市簡易水道事業特別会計予算	23	0	原案可決
28号	平成20年度塩尻市国民健康保険榑川診療所事業特別会計予算	23	0	原案可決
29号	平成20年度塩尻市後期高齢者医療事業特別会計予算	21	2	原案可決
30号	平成20年度塩尻市水道事業会計予算	23	0	原案可決
31号	平成20年度塩尻市下水道事業会計予算	23	0	原案可決
32号	平成20年度塩尻市農業集落排水事業会計予算	23	0	原案可決
33号	平成20年度塩尻市駐車場事業会計予算	23	0	原案可決
34号	平成19年度塩尻市一般会計補正予算（第7号）	23	0	原案可決
35号	平成19年度塩尻市国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）	23	0	原案可決
36号	平成19年度塩尻市老人保健事業特別会計補正予算（第2号）	23	0	原案可決
37号	平成19年度塩尻市介護保険事業特別会計補正予算（第4号）	23	0	原案可決
38号	平成19年度塩尻市簡易水道事業特別会計補正予算（第2号）	23	0	原案可決
39号	平成19年度塩尻市水道事業会計補正予算（第4号）	23	0	原案可決
40号	平成19年度塩尻市下水道事業会計補正予算（第4号）	23	0	原案可決
41号	平成19年度塩尻市農業集落排水事業会計補正予算（第4号）	23	0	原案可決
42号	塩尻市国民健康保険税条例の一部を改正する条例	21	2	原案可決
43号	平成19年度塩尻市一般会計補正予算（第8号）	23	0	原案可決
報告1号	損害賠償の額の決定の専決処分報告について	-	-	報告受理
2号	損害賠償の額の決定の専決処分報告について	-	-	報告受理
3号	損害賠償の額の決定の専決処分報告について	-	-	報告受理
4号	平成19年度塩尻市一般会計補正予算（第6号）の専決処分報告について	23	0	承認

## 陳情処理状況（4件）

番号	件名	議決結果
陳情3月1号	地方切捨てを許さず、飯田国道事務所・出張所の執行体制等の拡充を求める陳情	趣旨採択
陳情3月2号	老人医療費給付事業の継続を求める陳情	不採択
陳情3月3号	保険業法から共済制度の適用除外を求める陳情	継続審査
陳情3月4号	ならい荘への対応に関する陳情	不採択

※議員24人中、議長は採決に加わりません。  
 ※陳情は、委員会審査で採決がされました。



日々育児に追われていると、社会から取り残された不安に駆られます。そこで、身近な話題を扱う市議会を、塩尻市子育てサークル連絡会の取り組みとして傍聴を行なっています。

子育て中にも議会傍聴を

日頃味わつことの少ない静けさと、緊張感の中でいるいろいろな事を知るとても貴重な経験です。最近では一問一答式になり、私達にも解かりやすくなりました。



峰原 伸子さん

今、子ども達を取り巻く環境は食をはじめめ不安が一杯です。自分達の住む町『しおじり』を深く知って、より安心で住みよい町にする為にも、託児サービスを利用してもっと気軽に多くのお母さん達に傍聴してもらえたらと感じます。そして多くのお母さんが興味を持つことよって、(仮)市民交流センターについて等、更に熱い議論が交わされることを期待しております。

市民の声

地球温暖化問題が毎日報道されており、多くの方が関心を持っていると思います。京都議定書により、日本は温室効果ガスを今年から5年間で、6%削減しなければなりません。ところが、京都議定書以来逆に増加しているということになります。

地球温暖化を防ごう



吉田 幹雄さん

異常気象による災害、作物の不作等を聞く度に、地球温暖化の影響ではないかと考えます。高度経済成長時代の大量消費から低成長に移行した現在は、循環型の生活に変えていかなければなりません。

最近、個人的にも日常生活でできる省エネの取り組み、省電力・節水等率先してやりはじめました。

近隣の行政機関では既に実施しているような、例えばバイオマス発電や有機資源ゴミの収集など、少ない予算でも、できることがあるのではないかと思います。

6月定例会の予定

6月2日	招集日
6月9日	一般質問
10日	
11日	
12日	
13日	委員会審査
16日	最終日
6月19日	

日程は変更になる場合があります。間近になりましたら議会事務局へお問い合わせください。(ホームページでもお知らせしています) 議会事務局 TEL (0263)52-0280(内線1411) URL http://www.city.shiojiri.nagano.jp

市議会レポート

市議会広報委員会視察 議会広報力の向上を目的に、議会広報の先進地視察研修を行いました。

2月14日(木)愛知県美和町議会

過去に何度も全国町村議会議長会広報紙コンクールで入選している議会。

「いかに市民に読んでもらうか」を常に意識されており、議会だよりの作成・編集に携わっている議員の意識の高さに刺激を受けるとともに、積極的な意見交換を行いました。

美和町議会 広報特別委員会との意見交換



2月15日(金)愛知県日進市議会

塩尻市や美和町と同様に議員自らが議会だよりの作成・編集を行っており、市民への説明責任・情報公開として議会唯一のフォーマルな情報として、高い意識で活動されてきました。議会だよりを讀んだ市民からの反応も多しと聞き、大変参考になりました。



日進市議会 広報特別委員との意見交換

議会あれこれ

◆市長は若き思い出の一端を語り、副市長は異例の質問要旨確認。珍しい答弁があった3月定例会だった。

有害図書類自動販売機等規制条例と異なり、答弁の方法には「表現の自由」があることがわかった。

◆最古の法典はシュメールの「ウル・ナンム」である。この世に完全な法はない。法は、長い人類の歴史の中で幾多の変遷を繰り返し、その時の知恵の結集である。新法ができる時は当然のことだが、議論が噴出する。その法は、また長い歴史の中で評価される。

◆「議会は、へ理屈を述べる場でない」3月議会閉会の市長の挨拶。自分の思いと異なる議員発言の本意は、市長には伝わらないのか。青少年育成という目的に同意なら、手段である有害自販機条例の制定にいろいろ言うのでは短絡的で議会の存在意義がない。

議会広報委員会

- ◎ 中原巳年男 ○ 石井 新吾
- 金子 勝寿 山口 恵子
- 古畑 秀夫 青柳 充茂
- 五味 東條 柴田 博
- ◎ 委員長 ○ 副委員長